

～表現の工夫をとらえて読み、それをいかして発信しよう～

日本文化を発信しよう

教科書出版社名 (光村図書)

○ 小中学校 (6) 年 教科等 (国語科)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・引用したり、図表やグラフ、画像などを用いたりして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりする力

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・図書館資料、インターネットの両方を用いて、必要な情報を抜き出し、まとめる力

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて、図書館資料・タブレットで必要な情報を集める。
- 整理・分析…プレゼンテーションするために必要な情報を、情報カードにまとめる。
- まとめ・表現・発信…整理した情報をスライドにまとめ、5年生にむけて発表する。

○ 学習の展開 (全13時間) 学校図書館等を活用した時間は☆印

第1次	・日本文化について調べて分かったことをスライドにまとめる学習の見通しをもつ。
第2次	・『『鳥獣戯画』を読む』を読む。 ・鳥獣戯画に描かれている絵について考える。 ・筆者の主張を読み取る。 ・筆者の表現の工夫を考える。
第3次 (☆)	・図書館資料で、日本文化について調べる。(☆) ・インターネットで、日本文化について調べる。(☆) ・プレゼンテーションの構成を考える。 ・プレゼンテーションのためのスライドづくりをする。
第4次	・クラスの中でプレゼンテーションをし、感想を伝え合う。 ・5年生に向けて、プレゼンテーションする。 ・単元の振り返りをする。

(本時6 / 13時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
 目的に応じて、日本文化について書かれた本から必要な情報を見つけることができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
1	1. 本時のめあてを確認する。	・「5年生に向けてプレゼンテーションをする」という目的を再確認する。
4	<p>日本文化について書かれた本を選んで読み、プレゼンテーションのためのスライドをつくるときに参考になりそうな表現を見つけよう。</p> 2. 本・インターネットのメリット・デメリットを確認する。	前時までに児童から出た意見をまとめたものを掲示して、想起させる。
20	3. 自分の調べたい情報に着目して、本を読む。 ・書き出しの工夫 ・ 体言止め ・問いかけ ・ 資料の工夫 など	・ただ情報を集めるだけでなく、筆者の表現やその工夫を見つけて、情報カードにまとめるようにする。 ★関連する本の準備 ★学校司書・公共図書館との連携
10	4. 図書館資料の中で見つけたことについて、グループで報告し合う。	・本の中で、自分が知らなかったこと、すごいと思ったことなどについて交流させる。
10	5. 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	

図書館活用ポイント

